

# 五・二〇 十二周年記念式典

日本赤軍

世界で闘いぬいている  
友人たち!

リッダ闘争から十三年  
目の五月三十日を、私は  
ちは新たに感激で迎えて  
います。

同志岡本がパレスチナ  
の多くの戦士たちと共に、  
十三年ぶりにイスラエル  
の獄から解放された為で  
す。私たち日本赤軍は、  
同志岡本と共に解放され  
た、パレスチナのアラブ  
の、自由の戦士たちを心  
からたえ歓迎します。

そしてまず何よりも、  
私たちのリッダ闘争を支  
持し、シオニストの再三  
の拒否を許さず、ねばり  
づよく同志解放の闘いを  
繼續したPLOの戦士た  
ちに感謝します。

そして更に、赤十字を  
はじめ関係政府・首脳の  
みなさんの労に感謝しま  
す。更に、世界の闘う人  
民にありがとうございました。  
くわえて、解放された  
同志岡本が、十三年にわ  
たる肉体的精神的拷問に  
耐えて闘いぬき、日本赤  
軍戦士としての義務を貫  
徹したことなどをたたえます。  
又、私たちは、リッダ闘  
争の闘いの中で同志岡本  
と共に闘い戦死した、同  
志バーチム・奥平・サラ  
ハ安田の精神を再び思ひ  
おこし、彼らの意志をひ  
きついで闘う決意を新た  
にします。

「テロリストは相手にせ  
ず」と、十数年にわたつ  
て解放を拒んできたイス  
ラエル政府は、味方の不  
退転の闘いの力に屈し、  
勝ちぬきながら今進撃し  
ます。

パレスチナの闘いの教  
訓の中から受けついだ人  
民戦争の陣型と戦術は、  
敵のご息な策動を碎き、

不承不承戦士をひきわた  
しました。解放された同  
志たちは、戦場への道を  
いそいでいます。再び更  
に闘う為です。

「闘いだけが、解放と勝  
利をもたらす」この現実  
を大切に我々の胸に刻み、  
私たちも又、更に前進し  
ます。

世界の友人のみなさん、  
ありがとうございます。

★ ★ ★  
日本赤軍は、パレスチナ  
の人民と共に、レバノン  
の人民による解放の闘  
いを支えながら、共通の  
勝利を享受しています。

レバノン人民の勝利は、  
又パレスチナ人民の非妥  
協な闘いを前進させ、世  
界の人民・日本の人民の  
闘いの後方をなしていま  
す。

イエスラエルによるレバ  
ノン侵略三周年を間に近  
いかえた戦場で、レバノ  
ン人民・パレスチナ人民  
は、勝利の力、武装闘争  
と不退転の解放の意志を  
更に固め、意気高く五・  
三〇国際主義の日を祝つ  
さらされ、数千人の命を  
失い、何万という数えき  
れない人々が傷つき、何  
十万という人々が家を失  
い血の海と涙の中から武  
器を離さず闘い、闘いぬ  
いた結果レバノンは、今  
日の勝利を迎えていました。

イスラエルは、経済的に  
も政治的にも、そして道  
義的にも侵略をこれ以上  
続けられず、日一日と後  
退を余儀なくされ一歩一  
歩退却を強いられていま  
す。強いられた犠牲の中  
にありがとうと言いま  
す。

日本赤軍は、逆に彼  
の前にたちふさがる米帝  
アにおいても、又ヨーロ  
ッパにおいても益々乱暴  
な行為が見られました。

肌寒く、不透明な雨で  
おおわれていた東京のあ  
の日から10年。

★ ★ ★  
★ ★ ★

私たち日本赤軍は、パ  
レスチナのレバノンの闘  
いの現実に立脚しつつ、  
日本の闘う人々と共に闘  
いづける用意があります。

ア人民に連帯し、レバノ  
ン人民の闘いに連帯し、  
ヨーロッパ人民の反軍拡  
・反NATOの闘いに連  
帶し、アジア人民の闘い  
に連帯し、共通の敵に対  
決する場所的役割は益々  
増大しています。世界の  
闘う人々は反戦平和の名  
において、反核軍縮の名  
において、そして武装闘  
争の技術と経験を共有財産と  
めています。

日本赤軍は、かけがえの  
ない同志たちを失つてしま  
いました。

彼らの「義」と「志」  
の真の意味を受けとめ、  
その日齊藤和同志は、  
藤沢義美同志、船本洲治同志と、  
荒井なほ子同志、藤沢義  
敏同志、船本洲治同志と、  
ともに生き残った私  
たちの責任だという思い、  
それを発展させて  
きました。

あの日から10年、今敵

の闘いは、世界の人々の  
利潤追求と重ねて大胆  
に登場しはじめています。

つづけています。私たち  
は、日本赤軍は、パレスチナ  
の人民と共に、レバノン  
の人民による解放の闘  
いを支えながら、共通の  
勝利を享受しています。

日本において、反米闘  
争と日帝の外交政策への  
対決を要に、国際主義の  
現地平に有機的に呼応す  
る各持場の闘いが益々問  
われています。二カラグ

ア人民に連帯し、レバノ  
ン人民の闘いに連帯し、  
ヨーロッパ人民の反軍拡  
・反NATOの闘いに連  
帶し、アジア人民の闘い  
に連帯し、共通の敵に対  
決する場所的役割は益々  
増大しています。世界の  
闘う人々は反戦平和の名  
において、反核軍縮の名  
において、そして武装闘  
争の技術と経験を共有財産と  
めています。

日本赤軍は、かけがえの  
ない同志たちを失つてしま  
いました。

彼らの「義」と「志」  
の真の意味を受けとめ、  
その日齊藤和同志は、  
藤沢義美同志、船本洲治同志と、  
荒井なほ子同志、藤沢義  
敏同志、船本洲治同志と、  
ともに生き残った私  
たちの責任だという思い、  
それを発展させて  
きました。

あの日から10年、今敵

の闘いは、世界の人々の  
利潤追求と重ねて大胆  
に登場しはじめています。

つづけています。敵は、「國  
民合意」の名において教  
育・文化的統合をはなば  
らしくおし進めつつ、他  
方、法改悪・司法の反動  
化、そして山谷での虐殺  
に示されるように、陰謀  
に満ちた地下戦争を拡大  
しています。

しかし、どのような時  
代にあっても、世界の人  
人と共に、共感し、革命  
的楽観主義に立ち、世界  
の一部である日本の闘い  
の、その又一部である持  
ち場を闘いぬくとき、世  
界の人々の前進に励まさ  
れ、持場の創造的な戦力  
をより有效地に育てること  
ができるでしょう。

私たち日本赤軍は時代  
を変え、社会を変え勝ち  
ぬく為に、人々と共に自  
分をも支えながら闘いつ  
づけることによって、日  
本の闘いにも、それはは  
じめます。

日本赤軍は、かけがえの  
ない同志たちを失つてしま  
いました。

彼らの「義」と「志」  
の真の意味を受けとめ、  
その日齊藤和同志は、  
藤沢義美同志、船本洲治同志と、  
荒井なほ子同志、藤沢義  
敏同志、船本洲治同志と、  
ともに生き残った私  
たちの責任だという思い、  
それを発展させて  
きました。

あの日から10年、今敵

の闘いは、世界の人々の  
利潤追求と重ねて大胆  
に登場しはじめています。

つづけています。敵は、「國  
民合意」の名において教  
育・文化的統合をはなば  
らしくおし進めつつ、他  
方、法改悪・司法の反動  
化、そして山谷での虐殺  
に示されるように、陰謀  
に満ちた地下戦争を拡大  
しています。

しかし、どのような時  
代にあっても、世界の人  
人と共に、共感し、革命  
的楽観主義に立ち、世界  
の一部である日本の闘い  
の、その又一部である持  
ち場を闘いぬくとき、世  
界の人々の前進に励まさ  
れ、持場の創造的な戦力  
をより有效地に育てること  
ができるでしょう。

私たち日本赤軍は時代  
を変え、社会を変え勝ち  
ぬく為に、人々と共に自  
分をも支えながら闘いつ  
づけることによって、日  
本の闘いにも、それはは  
じめます。

日本赤軍は、かけがえの  
ない同志たちを失つてしま  
いました。

彼らの「義」と「志」  
の真の意味を受けとめ、  
その日齊藤和同志は、  
藤沢義美同志、船本洲治同志と、  
荒井なほ子同志、藤沢義  
敏同志、船本洲治同志と、  
ともに生き残った私  
たちの責任だという思い、  
それを発展させて  
きました。

あの日から10年、今敵

の闘いは、世界の人々の  
利潤追求と重ねて大胆  
に登場しはじめています。

つづけています。敵は、「國  
民合意」の名において教  
育・文化的統合をはなば  
らしくおし進めつつ、他  
方、法改悪・司法の反動  
化、そして山谷での虐殺  
に示されるように、陰謀  
に満ちた地下戦争を拡大  
しています。

しかし、どのような時  
代にあっても、世界の人  
人と共に、共感し、革命  
的楽観主義に立ち、世界  
の一部である日本の闘い  
の、その又一部である持  
ち場を闘いぬくとき、世  
界の人々の前進に励まさ  
れ、持場の創造的な戦力  
をより有效地に育てること  
ができるでしょう。

私たち日本赤軍は時代  
を変え、社会を変え勝ち  
ぬく為に、人々と共に自  
分をも支えながら闘いつ  
づけることによって、日  
本の闘いにも、それはは  
じめます。

日本赤軍は、かけがえの  
ない同志たちを失つてしま  
いました。

彼らの「義」と「志」  
の真の意味を受けとめ、  
その日齊藤和同志は、  
藤沢義美同志、船本洲治同志と、  
荒井なほ子同志、藤沢義  
敏同志、船本洲治同志と、  
ともに生き残った私  
たちの責任だという思い、  
それを発展させて  
きました。

あの日から10年、今敵

の闘いは、世界の人々の  
利潤追求と重ねて大胆  
に登場しはじめています。

つづけています。敵は、「國  
民合意」の名において教  
育・文化的統合をはなば  
らしくおし進めつつ、他  
方、法改悪・司法の反動  
化、そして山谷での虐殺  
に示されるように、陰謀  
に満ちた地下戦争を拡大  
しています。

しかし、どのような時  
代にあっても、世界の人  
人と共に、共感し、革命  
的楽観主義に立ち、世界  
の一部である日本の闘い  
の、その又一部である持  
ち場を闘いぬくとき、世  
界の人々の前進に励まさ  
れ、持場の創造的な戦力  
をより有效地に育てること  
ができるでしょう。

私たち日本赤軍は時代  
を変え、社会を変え勝ち  
ぬく為に、人々と共に自  
分をも支えながら闘いつ  
づけることによって、日  
本の闘いにも、それはは  
じめます。

日本赤軍は、かけがえの  
ない同志たちを失つてしま  
いました。

彼らの「義」と「志」  
の真の意味を受けとめ、  
その日齊藤和同志は、  
藤沢義美同志、船本洲治同志と、  
荒井なほ子同志、藤沢義  
敏同志、船本洲治同志と、  
ともに生き残った私  
たちの責任だという思い、  
それを発展させて  
きました。

あの日から10年、今敵

の闘いは、世界の人々の  
利潤追求と重ねて大胆  
に登場しはじめています。

つづけています。敵は、「國  
民合意」の名において教  
育・文化的統合をはなば  
らしくおし進めつつ、他  
方、法改悪・司法の反動  
化、そして山谷での虐殺  
に示されるように、陰謀  
に満ちた地下戦争を拡大  
しています。

しかし、どのような時  
代にあっても、世界の人  
人と共に、共感し、革命  
的楽観主義に立ち、世界  
の一部である日本の闘い  
の、その又一部である持  
ち場を闘いぬくとき、世  
界の人々の前進に励まさ  
れ、持場の創造的な戦力  
をより有效地に育てること  
ができるでしょう。

私たち日本赤軍は時代  
を変え、社会を変え勝ち  
ぬく為に、人々と共に自  
分をも支えながら闘いつ  
づけることによって、日  
本の闘いにも、それはは  
じめます。

日本赤軍は、かけがえの  
ない同志たちを失つてしま  
いました。

彼らの「義」と「志」  
の真の意味を受けとめ、  
その日齊藤和同志は、  
藤沢義美同志、船本洲治同志と、  
荒井なほ子同志、藤沢義  
敏同志、船本洲治同志と、  
ともに生き残った私  
たちの責任だという思い、  
それを発展させて  
きました。

あの日から10年、今敵

の闘いは、世界の人々の  
利潤追求と重ねて大胆  
に登場しはじめています。

つづけています。敵は、「國  
民合意」の名において教  
育・文化的統合をはなば  
らしくおし進めつつ、他  
方、法改悪・司法の反動  
化、そして山谷での虐殺  
に示されるように、陰謀  
に満ちた地下戦争を拡大  
しています。

しかし、どのような時  
代にあっても、世界の人  
人と共に、共感し、革命  
的楽観主義に立ち、世界  
の一部である日本の闘い  
の、その又一部である持  
ち場を闘いぬくとき、世  
界の人々の前進に励まさ  
れ、持場の創造的な戦力  
をより有效地に育てること  
ができるでしょう。

私たち日本赤軍は時代  
を変え、社会を変え勝ち  
ぬく為に、人々と共に自  
分をも支えながら闘いつ  
づけることによって、日  
本の闘いにも、それはは  
じめます。

日本赤軍は、かけがえの  
ない同志たちを失つてしま  
いました。

彼らの「義」と「志」  
の真の意味を受けとめ、  
その日齊藤和同志は、  
藤沢義美同志、船本洲治同志と、  
荒井なほ子同志、藤沢義  
敏同志、船本洲治同志と、  
ともに生き残った私  
たちの責任だという思い、  
それを発展させて  
きました。

あの日から10年、今敵

の闘いは、世界の人々の  
利潤追求と重ねて大胆  
に登場しはじめています。

つづけています。敵は、「國  
民合意」の名において教  
育・文化的統合をはなば  
らしくおし進めつつ、他  
方、法改悪・司法の反動  
化、そして山谷での虐殺  
に示されるように、陰謀  
に満ちた地下戦争を拡大  
しています。

しかし、どのような時  
代にあっても、世界の人  
人と共に、共感し、革命  
的楽観主義に立ち、世界  
の一部である日本の闘い  
の、その又一部である持  
ち場を闘いぬくとき、世  
界の人々の前進に励まさ  
れ、持場の創造的な戦力  
をより有效地に育てること  
ができるでしょう。

私たち日本赤軍は時代  
を変え、社会を変え勝ち  
ぬく為に、人々と共に自  
分をも支えながら闘いつ  
づけることによって、日  
本の闘いにも、それはは  
じめます。

日本赤軍は、かけがえの  
ない同志たちを失つてしま  
いました。

彼らの「義」と「志」  
の真の意味を受けとめ、  
その日齊藤和同志は、  
藤沢義美同志、船本洲治同志と、  
荒井なほ子同志、藤沢義  
敏同志、船本洲治同志と、  
ともに生き残った私  
たちの責任だという思い、  
それを発展させて  
きました。

あの日から10年、今敵

の闘いは、世界の人々の  
利潤追求と重ねて大胆  
に登場しはじめています。

つづけています。敵は、「國  
民合意」の名において教  
育・文化的統合をはなば  
らしくおし進めつつ、他  
方、法改悪・司法の反動  
化、そして山谷での虐殺  
に示されるように、陰謀  
に満ちた地下戦争を拡大  
しています。

しかし、どのような時  
代にあっても、世界の人  
人と共に、共感し、革命  
的楽観主義に立ち、世界  
の一部である日本の闘い  
の、その又一部である持  
ち場を闘いぬくとき、世  
界の人々の前進に励まさ  
れ、持